【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和6年3月12日(2024.3.12)

【公開番号】特開2023-153961(P2023-153961A)
【公開日】令和5年10月18日(2023.10.18)
【年通号数】公開公報(特許)2023-196
【出願番号】特願2023-128124(P2023-128124)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ 15/55(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 9/16(2006.01)
Ｃ１２Ｐ 1/00(2006.01)
Ｃ１２Ｐ 13/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ 15/55 ＺＮＡ
Ｃ１２Ｎ 9/16
Ｃ１２Ｐ 1/00 Ａ
Ｃ１２Ｐ 13/02

【手続補正書】
【提出日】令和6年3月4日(2024.3.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
配列番号４で示されるアミノ酸配列と少なくとも９０％同一のアミノ酸配列、またはその機能的フラグメントを含んでなるカルボキシエステラーゼポリペプチドであって、カルボキシエステラーゼポリペプチドのアミノ酸配列が、配列番号４のＸ１９８に相当する残基がＦ、Ｉ、Ｙ、およびＭから選択されるという特徴を含む、カルボキシエステラーゼポリペプチド。
【請求項２】
カルボキシエステラーゼポリペプチドのアミノ酸配列が、Ｘ２７、Ｘ３０、Ｘ３５、Ｘ３７、Ｘ５７、Ｘ７５、Ｘ１０３、Ｘ１８５、Ｘ２０７、Ｘ２０８、Ｘ２７１、Ｘ２８６、およびＸ２９６から選択される少なくとも１つの残基位置に、配列番号４で示されるアミノ酸配列とは異なる残基を含んでなる、請求項１に記載のカルボキシエステラーゼポリペプチド。
【請求項３】
カルボキシエステラーゼポリペプチドのアミノ酸配列が、
Ｘ１０３に相当する残基が脂肪族残基および芳香族残基から選択されるという特徴を少なくとも１つ含む、請求項１または２に記載のカルボキシエステラーゼポリペプチド。
【請求項４】
Ｘ１０３が芳香族残基である、請求項３に記載のカルボキシエステラーゼポリペプチド。
【請求項５】
Ｘ１０３がＷである、請求項４に記載のカルボキシエステラーゼポリペプチド。
【請求項６】
カルボキシエステラーゼポリペプチドのアミノ酸配列が、Ｘ１８５に相当する残基が非

極性残基、脂肪族残基、および芳香族残基から選択されるという特徴を含む、請求項１～５のいずれか一項に記載のカルボキシエステラーゼポリペプチド。
【請求項７】
Ｘ１８５が芳香族残基である、請求項６に記載のカルボキシエステラーゼポリペプチド。
【請求項８】
Ｘ１８５がＦである、請求項７に記載のカルボキシエステラーゼポリペプチド。
【請求項９】
カルボキシエステラーゼポリペプチドのアミノ酸配列が、Ｘ２７がＰであること；Ｘ３０がＩ、Ｌ、およびＶから選択されること；Ｘ３５がＨであること；Ｘ３７がＩ、Ｌ、Ｔ、およびＶから選択されること；Ｘ５７がＭであること；Ｘ７５がＲであること；Ｘ１０３がＦ、Ｍ、およびＷから選択されること；Ｘ１８５がＦ、Ｉ、およびＭから選択されること；Ｘ２０７がＥであること；Ｘ２０８がＲ、Ｌ、およびＨから選択されること；Ｘ２７１がＤであること；Ｘ２８６がＭ、Ｖ、およびＧから選択されること；ならびにＸ２９６がＶ、Ｌ、およびＲから選択されることから選択される少なくとも１つの特徴を含む、請求項１～３のいずれか一項に記載のカルボキシエステラーゼポリペプチド。
【請求項１０】
請求項１～９のいずれか一項に記載のポリペプチドをコードする、ポリヌクレオチド。
【請求項１１】
請求項１０に記載のポリヌクレオチドを含んでなる、ベクター。
【請求項１２】
請求項１１に記載のベクターを含んでなる、宿主細胞。
【請求項１３】
請求項１～９のいずれか一項に記載の少なくとも１つの操作されたカルボキシエステラーゼを含んでなる、組成物。